

ポスター発表

[PS02] ポスター発表(学生 B:コアタイム2)

2024年3月30日(土) 12:30 ~ 13:30 桜(学生)(桜)

[PS02-52] チョウ目害虫とカ類に対して有効な微胞子虫による新規微生物
防除資材の開発○船山 千寛¹、山内 康平¹、頃末 美紀¹、徳重 美琴¹、池田 健樹¹、畠山 吉則¹ (1. 日大・生物資源)

微胞子虫は菌類の一種であり、様々な動物に感染する。昆虫感染性微胞子虫は微生物防除資材として期待されており、既に作物を食害するバッタ類に対して有効な微胞子虫が市販化されている。その一方で、その他の害虫に有効な微胞子虫が市販化された事例はない。そこで、演者らはチョウ目害虫のハスモンヨトウに有効な微胞子虫の探索を行った。探索の結果、野生ハスモンヨトウから大型微胞子虫の2株を分離した。昨年の前回大会において、この2株は孢子サイズ測定により *Trachipleistophora* 属の可能性があり、ハスモンヨトウとカイコに対して感染性を示したことを報告した。そこで、本研究ではこの2株の性状解明を目的に、カイコへの経口接種による孢子形成様式の観察と SSUrRNA 解析による種の推定、孵化特性の調査を実施した。SSUrRNA の配列解析の結果、1株は *Trachipleistophora* 属、もう一方は *Vavraia* 属に類似していたことが判明した。*Vavraia* 属微胞子虫の1種はカを主な宿主とする。そのため、後者の株はハスモンヨトウおよびカの防除を可能とする利用範囲の広い株であり、カイコ利用による省力的な資材化も可能であろう。本発表ではこれらの2株の特性について報告し、資材としての利用価値を検討する。